



ADRC Highlights

Vol.79

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

October 1, 2003

➤ 10月4日開催に「国際防災オープンフォーラム」が間近に迫る、参加者を追加募集中

関東大震災 80 周年ならびに国連国際防災デーを記念して行われる「国際防災オープンフォーラム」地震の備えは万全か? ~ 関東大震災 80 周年の国際防災デーに考える ~ が 10 月 4 日(土)に向けいよいよ開催間近となりました。当日は、東京の国連大学にて 14 ~ 18 時にかけて行われます。

このフォーラムでは、主催者である国連大学および内閣府、国連国際防災戦略 (ISDR) 事務局、世界地震安全推進機構 (WSSI)、アジア防災センター (ADRC) に加え、今回新たに日本放送協会 (NHK) より後援・協力をいただけることになりました。

講師は、片山恒雄 (防災科学研究所理事長)、目黒公郎 (東京大学助教授)、Haresh Shah (スタンフォード大学名誉教授)、David Mammen (ニューヨーク行政研究所所長) の 4 人で、それぞれの専門分野である「関東大震災の教訓と復興」や、「地震に強い建物の重要性」、「地震による経済被害」、「都市計画や危機管理」など、地震防災に関する現状と対策について分かりやすく講演します。進行に係るコーディネーター役には、NHK アナウンス室の松尾剛氏に決まりました。

参加費が無料で、どなたでも参加できる当フォーラムでは、参加希望者を追加募集しております。希望される方は、10 月 3 日までに氏名・職業・住所・電話/FAX 番号を rep@adrc.or.jp へてに願います。http://www.adrc.or.jp/OpenForum_200310/Public_Forum_20031004_en.htm でも詳細をご覧ください。みなさまのご参加をお待ちしています。

➤ ADRC 新客員研究員の紹介 □ ヴィラボン・シソンバン研究員 (ラオス)

私は、1998 年よりラオス・厚生労働省社会福祉局国家防災事務所の訓練担当課長として、防災トレーニング活動に従事しています。1993 年に創設された事務所は、災害救援・軽減活動に積極的に取り組んでいます。私の所属する局は、NGO と連携して、災害に脆弱な地域での救援・軽減プロジェクトを実施しています。国家防災事務所は、国家防災委員会の事務局として 1999 年に設立され、災害への備え、軽減、対応、防止といったコミュニティレベルでの意識向上と教育活動が主な活動となっています。

これまでの業績の一つを紹介いたしますと、中央・地方・コミュニティの政府関係者への防災トレーニングコースを行いました。また、ラオスにある他の機関と協力し、中央・地方レベルで、教員や警察官、軍隊を対象と

したトレーニングプログラムも行いました。

ADRC の客員研究員として 7 月に来日し、現在 ADRC で勤務しています。今年の 12 月までここに滞在する予定で、日本の防災システムについて学びたい機会になると思います。また、このチャンスを生かして、ラオスに関する情報を ADRC のスタッフと共有し、意見を交換できれば幸いです。

□ ラオスにおける自然災害の発生状況と防災対策

ラオスは、東南アジアに位置する内陸国で、人口は 600 万人弱です。ラオスは後発開発途上国の一つで、一人当たりの GDP は US\$350 となっています。気候は、熱帯モンスーン気候で、雨季 (5 月初旬 - 11 月) と乾季 (12 月 - 4 月) に分けられます。ラオスの中心部は、熱帯低気圧や台風に対して脆弱な地域で、熱帯擾乱に伴う大雨により被害を頻繁に受けます。



ラオスで発生する主な災害は、洪水や干ばつ、火災、疫病、感染症となっています。毎年、このような災害により多くの人命が失われ、経済的にも多くの損失がでています。メコン川流域やその支流に住んでいる人々は洪水の影響を受けやすい状況にあります。ここで難しいのは、被害を受ける人たちが大変貧しく、資産がないために、このような人里はなれた場所に住まざるをえないという状況です。

ラオス政府では、このような災害に対処するために、かなりの予算を割いています。軽減対策を採用し、リスクを減らすための災害予防・防止活動に重点を置いています。そして、救援・軽減活動は、特に災害発生後に全力を挙げて取り組まれています。

「2020 年に向けた国家防災行動計画戦略」は、2003 年に開始し、国内 130 地区それぞれに防災委員会の設立を目標に掲げています。中央政府直轄で、それぞれの委員会は効果的な早期警報システムや教育プログラムを実施するよう計画されています。

➤ アジア最新災害情報: □ 北海道で「平成 15 年 (2003 年) 十勝沖地震」が発生

9 月 26 日午前 4 時 50 分ごろ、北海道・十勝沖を震源とする強い地震があり、日高、十勝、釧路地方で震度 6 弱を観測しました。気象庁によると、震源地は襟裳岬の東南東約 80 キロで、震源の深さは約 42 キロ、地震の規模を示すマグニチュード (M) は 8.0 と推定されます。各市町村によると、家具の下敷きになるなどして、北海道内を中心に 2 人の行方不明者や 591 人の重軽傷者が出ており、2 万人以上が一時避難しました。

ご意見・ご要望等があれば
右記までご連絡ください。

編集・発行: Asian Disaster Reduction Center (アジア防災センター)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2 ひと未来館 5F

E-mail: editor@adrc.or.jp TEL: 078(230)5540 FAX: 078(230)5546

誌代・送料: 無料 / 毎月 2 回発行 (予定)